



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 戸田工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4100 URL <https://www.todakogyo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 久保 恒晃  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 友川 淳 TEL 082-577-0055  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月25日 配当支払開始予定日 ー  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月24日  
 決算補足説明資料作成の有無： 有  
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	28,041	△11.4	862	ー	△77	ー	△3,455	ー
2025年3月期	31,667	20.7	△648	ー	△1,411	ー	△3,563	ー

(注) 包括利益 2026年3月期 △1,947百万円 (ー%) 2025年3月期 △2,776百万円 (ー%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	△597.39	ー	△34.5	△0.2	3.1
2025年3月期	△616.44	ー	△28.6	△2.7	△2.0

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 △1,078百万円 2025年3月期 △427百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	47,887	9,817	18.9	1,561.31
2025年3月期	50,672	11,777	21.7	1,904.96

(参考) 自己資本 2026年3月期 9,035百万円 2025年3月期 11,013百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	3,323	△994	△3,175	7,234
2025年3月期	3,820	△1,890	△2,131	7,837

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00	ー	ー	ー
2026年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00	ー	ー	ー
2027年3月期(予想)	ー	0.00	ー	0.00	0.00	ー	ー	ー

### 3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,000	△2.2	400	△33.3	400	ー	100	ー	17.29
通期	29,000	3.4	1,000	16.0	1,100	ー	500	ー	86.44

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	6,099,192株	2025年3月期	6,099,192株
2026年3月期	311,812株	2025年3月期	317,912株
2026年3月期	5,784,228株	2025年3月期	5,780,084株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	15,400	△2.0	312	—	2,337	—	△1,565	—
2025年3月期	15,714	1.8	△669	—	△1,130	—	△2,987	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	△270.62	—
2025年3月期	△516.79	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	34,895	2,119	5.8	347.78
2025年3月期	34,478	3,035	8.5	505.32

(参考) 自己資本 2026年3月期 2,012百万円 2025年3月期 2,921百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料につきましては、2026年6月2日に当社ウェブサイトに掲載予定であります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する事項)	13
(追加情報の注記)	13
(連結貸借対照表に関する注記)	13
(連結損益計算書に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	14
(1株当たり情報の注記)	16
(重要な後発事象の注記)	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（以下、「当期」）における当社グループを取り巻く事業環境は、雇用・所得環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の通商政策の動向や日中関係の悪化、中東情勢の緊迫化による原材料及びエネルギー価格の高騰が懸念される等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、2030年度（2031年3月期）のありたい姿や2024年度（2025年3月期）から2026年度（2027年3月期）までの3ヶ年を実行期間とする中期経営計画「Vision2026」で掲げたKPIの達成に向けて、選択と集中を加速させ、さらなる事業ポートフォリオマネジメントの強化を推し進めております。事業ポートフォリオマネジメントにおいて成長事業と位置付けている磁石材料及び誘電体材料はさらなる事業拡大を図っております。磁石材料の主な用途は自動車のモータやセンサであり、自動車部品の小型化・軽量化ニーズによる需要拡大に対応するため、経営資源を投入しております。また、誘電体材料の主な用途は自動車やICT機器等に搭載される積層セラミックコンデンサであり、さらなる小型化、高容量化が求められております。当社は独自の微粒子合成技術による150nm以下に特化した製品の開発及び製造を進めていることに加え、お客様に乾燥前の微粒子をご提供することで、高品質かつ微粒子分散の手間の軽減を実現可能とする分散体を提供することも目指しております。再生・転換事業と位置付けている着色材料やトナー用材料は、製品の価格は正活動や原価低減及び諸経費削減等の合理化活動を推し進めております。次世代事業と位置付けている環境関連材料においては、CO<sub>2</sub>分離回収材料等の環境負荷低減に貢献する新素材の開発を進め、早期事業化を目指し、経営資源を重点的に投入しております。

こうした状況のもと、Vision2026の2年目となる当期の経営成績は、売上高は28,041百万円（前期比11.4%減）、営業利益は862百万円（前期は営業損失648百万円）、経常損失は77百万円（前期は経常損失1,411百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は3,455百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失3,563百万円）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

#### （機能性顔料）

記録材の需要は好調に推移し、前期に比べ伸長いたしました。また、祖業である着色材料も回復いたしました。一方、トナー用材料において一部顧客による在庫調整の影響を受けたこと等により、売上高は前期比3.2%減の7,815百万円となりました。セグメント利益においては、原価低減及び諸経費削減に加え、製品の価格は正活動等の効果により前期比48.4%増の1,498百万円となりました。

#### （電子素材）

誘電体材料はAIサーバー及び周辺機器向けMLCC（積層セラミックコンデンサ）の需要が大幅に増加していることにより、過去最高の売上高となりました。一方、磁石材料や軟磁性材料は自動車市場における新車販売台数の減少や中国における同業他社との競争激化により苦戦いたしました。また、戸田アドバンストマテリアルズInc.の解散及び清算することを決定したこと、ハイドロタルサイト事業の協業活動を解消した影響もあり、売上高は前期比14.1%減の20,726百万円となりました。利益面においては、拡販活動や原価低減及び諸経費削減の効果に加え、戸田アドバンストマテリアルズInc.においても費用の減少や在庫の販売により、前期に比べ業績が大幅に改善いたしました。以上のことから、セグメント利益は前期比77.5%増の2,151百万円となりました。

営業外収支においてはEV市場の成長鈍化の影響を受け、持分法による投資損失を計上いたしました。また、特別損益においては当社の持分法適用関連会社であるBASF戸田バッテリーマテリアルズ合同会社の出資持分の全部を譲渡することに伴い、発生が見込まれる損失を計上いたしました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### （資産）

当期末における資産は47,887百万円となり、前期末に比べ2,785百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券が941百万円増加したものの、現金及び預金が796百万円、受取手形及び売掛金が1,177百万円、商品及び製品が787百万円、関係会社出資金が1,218百万円減少したこと等によります。

#### （負債）

当期末における負債は38,069百万円となり、前期末に比べ825百万円減少いたしました。これは主に、関係会社出資金譲渡損失引当金が3,016百万円増加したものの、借入金が2,695百万円、関係会社整理損失引当金が422百万円、流動負債のその他が579百万円減少したこと等によります。

#### （純資産）

当期末における純資産は9,817百万円となり、前期末に比べ1,960百万円減少いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金が643百万円、為替換算調整勘定が248百万円、退職給付に係る調整額が573百万円増加したものの、親会社株主に帰属する当期純損失3,455百万円の計上等によります。

以上の結果、1株当たりの純資産は前期比343.65円減少して1,561.31円となり、自己資本比率は前期比2.8ポイント減少して18.9%となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は7,234百万円となり、前期末より603百万円減少いたしました。

当期における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは3,323百万円（前期は3,820百万円）となりました。これは主に、売上債権の減少額1,276百万円、棚卸資産の減少額838百万円等による資金の増加が、仕入債務の減少額223百万円、法人税等の支払額481百万円等による資金の減少を上回ったこと等によります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは△994百万円（前期は△1,890百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,580百万円、無形固定資産の取得による支出230百万円等による資金の減少が、利息及び配当金の受取額380百万円、補助金の受取額273百万円等による資金の増加を上回ったこと等によります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは△3,175百万円（前期は△2,131百万円）となりました。これは主に、長期借入金等の返済による支出7,507百万円等による資金の減少が、長期借入れによる収入4,350百万円等による資金の増加を上回ったこと等によります。

### (4) 今後の見通し

今後の経済見通しにつきましては、不安定な国際情勢による原材料及びエネルギー価格の高騰、物流への影響等が懸念され、依然として不透明な状況が続くことが予想されます。特に中東情勢の緊迫化は様々なコストの上昇や原材料調達への影響等、サプライチェーン全体におけるリスクが顕在化しつつあります。

このような経営環境の中で、当社グループは独自の湿式合成をはじめとする微粒子合成技術の中核に据え、「事業ポートフォリオマネジメントの強化」を軸として、モビリティ、AI、環境といった成長分野への事業展開を加速し、持続的な企業価値の向上を目指しております。これらの成長分野において、当社グループが長年培ってきた材料技術を、社会や産業にとって「なくてはならない価値」として提供し続けることにより、事業拡大を図ってまいります。

2027年3月期の連結業績予想につきましては、売上高29,000百万円、営業利益1,000百万円、経常利益1,100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益500百万円としております。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

#### （機能的顔料）

触媒向け材料や記録材の需要は好調に推移するものと見込んでおります。また、原価低減及び諸経費削減等の合理化活動の取組みを継続することで安定的な利益の創出が期待されます。

#### （電子素材）

誘電体材料における市場の需要は旺盛であり、磁石材料や軟磁性材料においても拡販活動による新規テーマ獲得等により、売上高は当期と比べ、伸長するものと見込んでおります。利益面につきましても売上高の増加に加え、原価低減及び諸経費削減等の合理化活動の取組みの継続により好調に推移するものと見込んでおります。

営業外収支においては、BASF戸田バッテリーマテリアルズ合同会社の出資持分の全部を譲渡することに伴い、発生が見込まれる損失を当期に計上したことにより、次期の持分法適用関連会社の損益は改善する見通しです。

なお、上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づく連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,078	7,282
受取手形及び売掛金	8,295	7,118
商品及び製品	4,130	3,343
仕掛品	2,001	1,972
原材料及び貯蔵品	1,853	1,945
その他	1,469	752
貸倒引当金	△21	△17
流動資産合計	25,807	22,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,848	1,962
機械装置及び運搬具(純額)	1,636	2,544
土地	5,529	5,545
建設仮勘定	989	235
その他(純額)	461	614
有形固定資産合計	10,465	10,903
無形固定資産		
のれん	2,708	2,361
その他	55	282
無形固定資産合計	2,763	2,644
投資その他の資産		
投資有価証券	3,374	4,315
関係会社出資金	7,572	6,354
長期貸付金	4	3
退職給付に係る資産	597	1,171
その他	89	100
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	11,634	11,942
固定資産合計	24,864	25,489
資産合計	50,672	47,887

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,364	3,222
短期借入金	8,428	8,891
1年内返済予定の長期借入金	4,796	4,259
未払法人税等	138	158
賞与引当金	275	291
関係会社整理損失引当金	※1 955	※1 533
関係会社出資金譲渡損失引当金	-	※2 3,016
その他	2,219	1,640
流動負債合計	20,179	22,013
固定負債		
長期借入金	14,540	11,919
退職給付に係る負債	2,268	2,040
繰延税金負債	1,751	1,898
その他	154	196
固定負債合計	18,715	16,056
負債合計	38,894	38,069
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,477	7,477
資本剰余金	4,297	4,281
利益剰余金	△3,988	△7,443
自己株式	△1,428	△1,399
株主資本合計	6,357	2,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,475	2,118
為替換算調整勘定	2,785	3,033
退職給付に係る調整累計額	394	967
その他の包括利益累計額合計	4,655	6,119
新株予約権	114	107
非支配株主持分	650	674
純資産合計	11,777	9,817
負債純資産合計	50,672	47,887

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	31,667	28,041
売上原価	26,032	21,300
売上総利益	5,634	6,740
販売費及び一般管理費		
販売運賃	535	496
従業員給料手当	1,497	1,440
賞与引当金繰入額	68	72
退職給付費用	101	105
減価償却費	55	53
研究開発費	1,502	1,384
その他	2,522	2,324
販売費及び一般管理費合計	6,283	5,878
営業利益又は営業損失(△)	△648	862
営業外収益		
受取利息	76	71
受取配当金	74	81
受取賃貸料	38	2
為替差益	-	349
業務受託料	55	32
雑収入	108	69
営業外収益合計	353	606
営業外費用		
支払利息	449	451
持分法による投資損失	427	1,078
為替差損	194	-
雑損失	45	16
営業外費用合計	1,116	1,546
経常損失(△)	△1,411	△77
特別利益		
固定資産処分益	62	0
関係会社株式売却益	148	-
国庫補助金	335	273
受取補償金	92	-
保険解約返戻金	-	3
特別利益合計	638	277

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
特別損失		
固定資産処分損	20	5
固定資産圧縮損	226	214
減損損失	822	25
環境対策引当金繰入額	-	3
関係会社整理損失引当金繰入額	1,003	-
関係会社出資金譲渡損失引当金繰入額	-	※1 3,016
その他	117	0
特別損失合計	2,189	3,266
税金等調整前当期純損失 (△)	△2,962	△3,065
法人税、住民税及び事業税	406	473
法人税等調整額	171	△105
法人税等合計	578	367
当期純損失 (△)	△3,540	△3,433
非支配株主に帰属する当期純利益	22	22
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△3,563	△3,455

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純損失(△)	△3,540	△3,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85	643
為替換算調整勘定	688	174
退職給付に係る調整額	△149	573
持分法適用会社に対する持分相当額	139	95
その他の包括利益合計	763	1,485
包括利益	△2,776	△1,947
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△2,857	△1,990
非支配株主に係る包括利益	81	43

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,477	4,306	△425	△1,447	9,910
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△3,563		△3,563
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△9		20	11
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△9	△3,563	19	△3,552
当期末残高	7,477	4,297	△3,988	△1,428	6,357

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,389	2,016	543	3,950	97	567	14,525
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期純損失(△)							△3,563
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							11
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	85	768	△149	705	16	83	805
当期変動額合計	85	768	△149	705	16	83	△2,747
当期末残高	1,475	2,785	394	4,655	114	650	11,777

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,477	4,297	△3,988	△1,428	6,357
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△3,455		△3,455
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△15		29	14
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△15	△3,455	29	△3,441
当期末残高	7,477	4,281	△7,443	△1,399	2,916

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,475	2,785	394	4,655	114	650	11,777
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期純損失(△)							△3,455
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							14
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	643	247	573	1,464	△6	23	1,481
当期変動額合計	643	247	573	1,464	△6	23	△1,960
当期末残高	2,118	3,033	967	6,119	107	674	9,817

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失 (△)	△2,962	△3,065
減価償却費	499	550
減損損失	822	25
のれん償却額	535	402
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△529
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△39	15
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△8	△141
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△83	18
受取利息及び受取配当金	△150	△152
支払利息	449	451
為替差損益 (△は益)	230	△276
持分法による投資損益 (△は益)	427	1,078
固定資産処分損益 (△は益)	△41	4
固定資産圧縮損	226	214
関係会社整理損失引当金繰入額	1,003	—
関係会社出資金譲渡損失引当金繰入額	—	3,016
売上債権の増減額 (△は増加)	563	1,276
棚卸資産の増減額 (△は増加)	3,951	838
仕入債務の増減額 (△は減少)	△214	△223
補助金収入	△335	△273
その他	△641	581
小計	4,243	3,805
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△423	△481
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,820	3,323
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
利息及び配当金の受取額	508	380
関係会社株式の売却による収入	10	—
有形固定資産の取得による支出	△2,920	△1,580
有形固定資産の売却による収入	221	1
無形固定資産の取得による支出	△116	△230
定期預金の純増減額 (△は増加)	△0	187
貸付金の回収による収入	0	0
補助金の受取額	335	273
その他	69	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,890	△994

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△702	441
長期借入れによる収入	6,370	4,350
長期借入金等の返済による支出	△5,235	△7,507
利息の支払額	△369	△413
自己株式の売却による収入	9	8
自己株式の取得による支出	△0	△0
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△220	—
その他金融負債に係る支出	△1,931	—
その他	△50	△53
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,131</b>	<b>△3,175</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	95	242
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△105</b>	<b>△603</b>
現金及び現金同等物の期首残高	7,943	7,837
現金及び現金同等物の期末残高	7,837	7,234

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(追加情報)

2026年2月26日開催の取締役会において、当社の持分法適用関連会社であるBASF戸田バッテリーマテリアルズ合同会社の出資持分の全部をBASF Battery Materials and Recycling GmbHに譲渡すること及び、合弁相手であるBASFジャパン株式会社との間の合弁事業を解消することを決議し、同日付でBASF Battery Materials and Recycling GmbHと譲渡契約を締結いたしました。上記に伴い、当期末において将来の譲渡損失の発生可能性が高く、損失額を合理的に見積ることができる判断し、当期に帳簿価額と持分譲渡契約で定められた譲渡金額の差額を連結財務諸表において関係会社出資金譲渡損失引当金繰入額3,016百万円として特別損失に計上しております。

なお、本持分譲渡の手続きは監督官庁の認可に時間を要しておりますが、本持分譲渡及び合弁解消を行う方針に変更はございません。

(連結貸借対照表に関する注記)

## ※1 関係会社整理損失引当金について

当社グループは、連結会社である戸田アドバンストマテリアルズInc.の解散及び清算を決定しております。これに伴い、将来発生する事が見込まれる費用及び損失に備える為、その見込み額を関係会社整理損失引当金として以下の通り計上しております。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
関係会社整理損失引当金	955百万円	533百万円

## ※2 関係会社出資金譲渡損失引当金について

(追加情報)に記載の通り、連結財務諸表において関係会社出資金譲渡損失引当金を計上しております。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
関係会社出資金譲渡損失引当金	-	3,016百万円

(連結損益計算書に関する注記)

## ※1 関係会社出資金譲渡損失引当金繰入額の注記

(追加情報)に記載の通り、連結財務諸表において関係会社出資金譲渡損失引当金繰入額を計上しております。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
関係会社出資金譲渡損失引当金繰入額	-	3,016百万円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び経営成績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループの報告セグメントの区分は製品系列を基礎として製造方法、製造過程並びに販売市場の類似性を考慮して区分しており、「機能性顔料」、「電子素材」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主な製品は次のとおりです。

(1) 機能性顔料・・・・・・・・顔料、環境関連材料

(2) 電子素材・・・・・・・・磁石材料、誘電体材料、軟磁性材料、リチウムイオン電池用材料

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は損失ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	機能性顔料	電子素材			
売上高					
外部顧客への売上高	8,054	23,612	31,667	-	31,667
セグメント間の内部売上高又は振替高	17	508	525	△525	-
計	8,071	24,121	32,192	△525	31,667
セグメント利益 又は損失(△)	1,009	1,212	2,221	△2,870	△648
セグメント資産	7,872	20,492	28,364	22,307	50,672
その他の項目					
減価償却費	39	418	457	41	499
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	438	2,247	2,685	376	3,062

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額△2,870百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,870百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額は全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の金融資産（現金及び預金、投資有価証券等）、管理部門に係る資産であります。

(3) 減価償却費の調整額は、報告セグメントに帰属しない資産の減価償却費であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、報告セグメントに帰属しない資産の増加額であります。

2 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	機能性顔料	電子素材			
売上高					
外部顧客への売上高	7,807	20,234	28,041	-	28,041
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	492	500	△500	-
計	7,815	20,726	28,542	△500	28,041
セグメント利益	1,498	2,151	3,650	△2,787	862
セグメント資産	7,428	19,028	26,456	21,430	47,887
その他の項目					
減価償却費	44	463	508	41	550
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	172	630	803	376	1,179

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△2,787百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,787百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額は全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の金融資産(現金及び預金、投資有価証券等)、管理部門に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額は、報告セグメントに帰属しない資産の減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、報告セグメントに帰属しない資産の増加額であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,904.96円	1,561.31円
1株当たり当期純損失(△)	△616.44円	△597.39円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	－円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	△3,563	△3,455
普通株主に帰属しない金額(百万円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	△3,563	△3,455
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,780	5,784
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	－	－
普通株式増加数(千株)	－	－
(うち新株予約権(千株))	(－)	(－)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2015年6月26日開催の取締役会決議による第2回新株予約権 新株予約権の数 142個 (普通株式 1,420株) 2016年6月29日開催の取締役会決議による第3回新株予約権 新株予約権の数 173個 (普通株式 1,730株) 2017年6月28日開催の取締役会決議による第4回新株予約権 新株予約権の数 186個 (普通株式 1,860株) 2018年6月27日開催の取締役会決議による第5回新株予約権 新株予約権の数 181個 (普通株式 1,810株) 2019年6月25日開催の取締役会決議による第6回新株予約権 新株予約権の数 263個 (普通株式 2,630株) 2020年6月25日開催の取締役会決議による第7回新株予約権 新株予約権の数 895個 (普通株式 8,950株) 2021年6月25日開催の取締役会決議による第8回新株予約権 新株予約権の数 698個 (普通株式 6,980株) 2022年6月28日開催の取締役会決議による第9回新株予約権 新株予約権の数 628個 (普通株式 6,280株) 2023年6月28日開催の取締役会決議による第10回新株予約権 新株予約権の数 874個 (普通株式 8,740株) 2024年6月26日開催の取締役会決議による第11回新株予約権 新株予約権の数 1,401個 (普通株式 14,010株)	2015年6月26日開催の取締役会決議による第2回新株予約権 新株予約権の数 142個 (普通株式 1,420株) 2016年6月29日開催の取締役会決議による第3回新株予約権 新株予約権の数 173個 (普通株式 1,730株) 2017年6月28日開催の取締役会決議による第4回新株予約権 新株予約権の数 186個 (普通株式 1,860株) 2018年6月27日開催の取締役会決議による第5回新株予約権 新株予約権の数 181個 (普通株式 1,810株) 2019年6月25日開催の取締役会決議による第6回新株予約権 新株予約権の数 263個 (普通株式 2,630株) 2020年6月25日開催の取締役会決議による第7回新株予約権 新株予約権の数 753個 (普通株式 7,530株) 2021年6月25日開催の取締役会決議による第8回新株予約権 新株予約権の数 571個 (普通株式 5,710株) 2022年6月28日開催の取締役会決議による第9回新株予約権 新株予約権の数 517個 (普通株式 5,170株) 2023年6月28日開催の取締役会決議による第10回新株予約権 新株予約権の数 746個 (普通株式 7,460株) 2024年6月26日開催の取締役会決議による第11回新株予約権 新株予約権の数 1,245個 (普通株式 12,450株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。